

ゆるすとは恨みが未来を決めることがないようすること

イエスの過越についての連続講話において、教皇レオ十四世は最後の晩餐におけるユダの裏切りについて考察し、裏切られても、見捨てられても、それでもゆるすことについて語ります。また8月22日を平和のための断食と祈りの日として過ごすよう招きます。

2025/08/21

2025年8月20日教皇レオ十四世一般 謁見演説（カトリック中央協議会 ウェブページ）

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/kyoukou-ippanekken20250820/>
(2026/01/22)